

みぬまハウス通信

第31号 2017年 9月20日発行
さいたま市見沼区大和田 2-1288-4
NPO法人 みぬまで暮らす会
TEL/FAX 048-796-0295
<http://www.minuma-hausu.net/>

☆ 「まちの保健室」のご案内 ☆



超高齢社会のいま、65歳以上の認知症患者数は平成24年で462万人とされています。平成37年（2025年）には約700万人、高齢者の5人に1人になると推計されています（平成28年版高齢社会白書）。認知症を正しく知って、いつまでも住み慣れたまちで暮らせるために必要なこと、私たちにできることを一緒に考えてみませんか。

10月の「まちの保健室」…「認知症の人と家族の会」の方のお話

日 時：平成29年10月18日 午後1時30分～3時（予定）

場 所：みぬまハウス

内 容：「認知症の人と家族の会／埼玉県支部」の方からお話をさせていただきます。

認知症の人たちの日常と関わっていく上で知っておきたいことを中心に、認知症の人たちとの接し方を学びます。

参加費：300円（コーヒー等飲み物代）

11月の「まちの保健室」…「最期まで在宅で暮らせるの？」

日 時：平成29年11月15日 午後1時30分～3時（予定）

場 所：みぬまハウス

内 容：歳と共に衰える身体機能や認知症への不安。退院した後の暮らし。在宅で看護を担ってくれる人手は？療養や介護を受けながらの暮らしに、相談できる人はいますか？医師、看護師、地域包括の方々も交えての話し合いの場です。

参加費：300円（コーヒー等飲み物代）

まちの保健室の参加申し込み先：みぬまハウス ☎ 796-0295

* 座席に限りがありますので、早めにお申し込みください。

みぬまハウスはお互いさまのまちづくりを目指しています。

- ・介護保険の訪問介護
- ・さいたま市訪問型家事支援サービス
- ・移送サービス(福祉有償運送)
- ・介護保険外の生活支援サービス

困りごとの相談にもお応えしています。
お問い合わせは ☎048-796-0295



(代表理事 長沼和子)

☆ 革細工 ラボ：「豚革でフローチを作ろう！」

日時：1回目 … 10月12日(木) 午後1時30分～3時
2回目 … 10月26日(木) 午後1時30分～3時

会場：みぬまハウス

講師：長沼 経子さん(会員)

参加費：1,000円(2回分、材料費込)

*参加される場合は、できるだけ2回ともご出席ください。

1回目は豚皮を水で伸ばしながら自分のイメージの形を作ります。

2回目は、乾いた作品に色付けして出来上がりです。

これからの季節、セーターや
帽子の飾りにぴったり!!



☆ みぬまハウスのくらす活動紹介 ☆



くらす活動で1番人気の歌声くらすをアコーディオン伴奏で支えてくださった千葉賢先生が病氣療養されることになりました。どんな曲でもアコーディオンの音色で歌わせてくれました。これまで、本当にお世話になりました。ありがとうございました。



歌声くらす

歌声くらすは、10月から新しい伴奏者になります。

毎月第2水曜日、午後1時30分～3時

主な歌は唱歌、童謡、昔の歌謡曲、ロシア民謡等

参加費：500円

源氏物語カフェ



みぬまハウス開設当初から始まり8年目を迎えました。

原文、口語訳文を輪読。その都度、質疑応答。

毎月第2日曜日 10時～11時30分

講師：長沼 行太郎さん

テキスト：小学館 古典セレクション 第4巻「澁標」

参加費：500円

☆ 金曜日と日曜日は介護者カフェ ☆

みぬまハウスの金曜日と日曜日は、家族の介護をされている方にホッと一息つきに来ていただく日です。介護に関する情報提供や相談にも応じています。気軽にご来店ください。



(長谷川)